

令和3年度

オンライン講座
第16回
まちづくり
I

16

2021
12月
No.16

熱海ブルーノ・タウト連盟

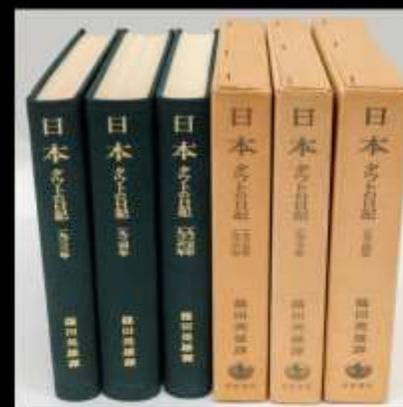
タウト塾@熱海

日本-「タウトの日記」

篠田英雄訳
-抜粋-

*** ブルーノ・タウトと旧日向別邸 ***

1935（昭和10）～ 1936（昭和11年）



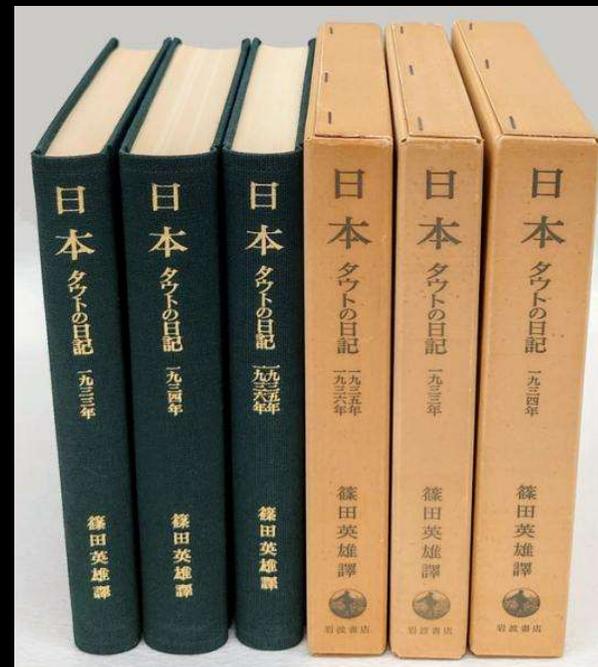
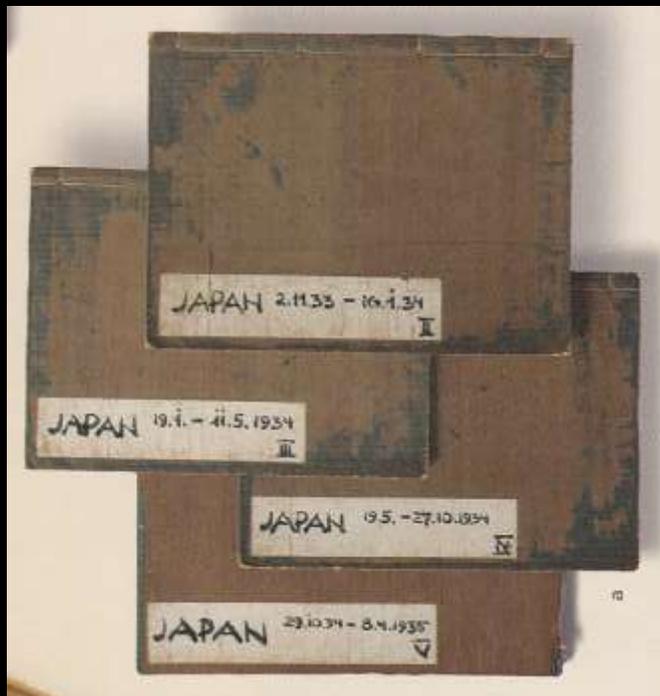
日本-「タウトの日記」

篠田英雄訳

-抜粋-

*** ブルーノ タウトと旧日向別邸 ***

1935 (昭和10) ~ 1936 (昭和11年)



旧日向別邸 と タウトの在日																																																
和暦	昭和8年												昭和9年												昭和10年												昭和11年											
西暦	1933												1934												1935												1936											
月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10						
日向別邸工事													(3年1ヶ月)																																			
一期工事	土地取得						上屋設計・工事 10ヶ月																																									
二期工事													土留め工事設計						土留め工事4ヶ月						18ヶ月 (44%)																							
三期工事																									タウト設計・吉田						地下室工事 13か月 (手直しこみ)																	
タウト在日	3日タウト末日												(3年5ヶ月)																								15日タウト離日											

1933
昭和8

3年5ヶ月

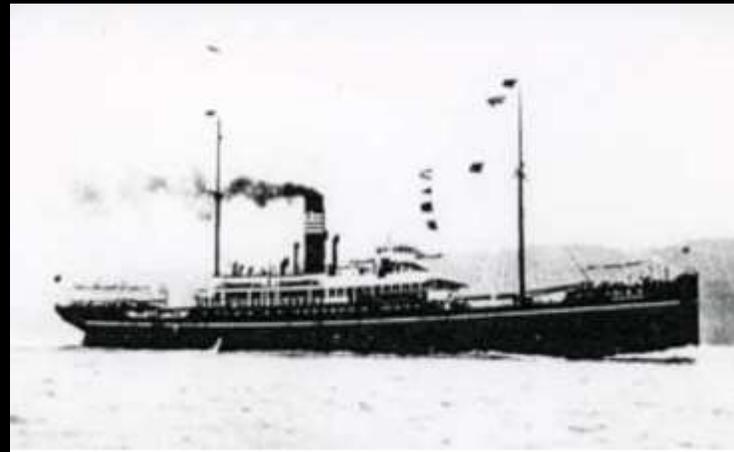
1936
昭和11



ブルーノ タウト



伴侶エリカ



天草丸



日本インターナショナル建築会



桂離宮（古書院、中書院、新御殿）



桂離宮は“月の離宮“

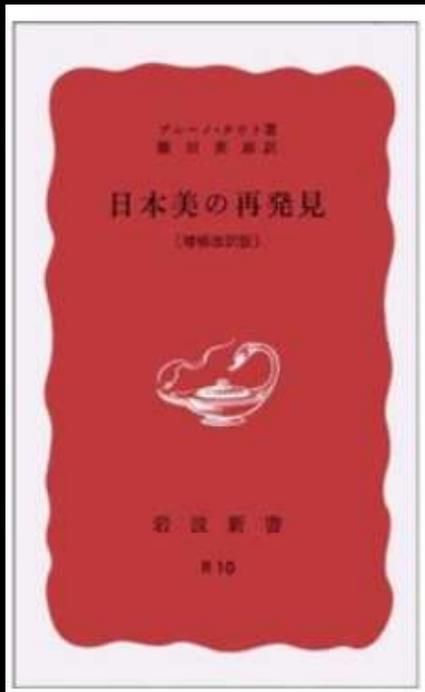


桂離宮

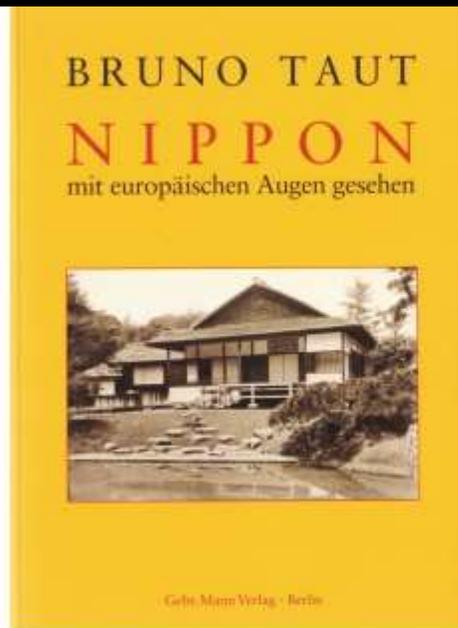
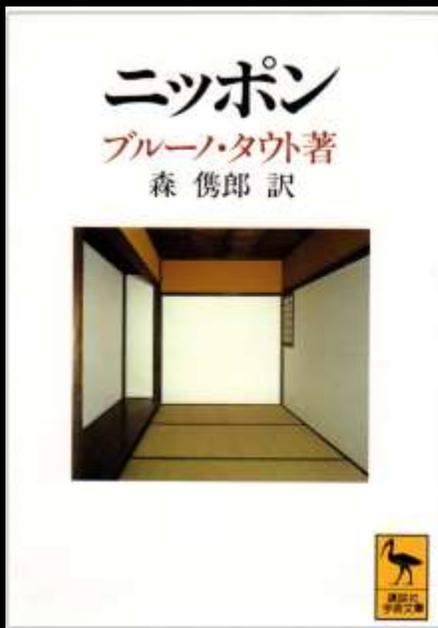
「画帳 桂離宮」を残した

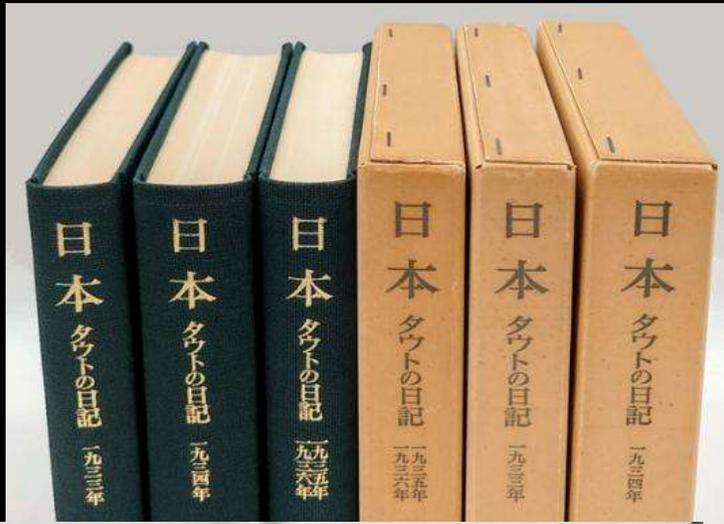


古書院の月見台



タウトは在日中、建築設計の仕事が無く、「**建築家の休日**」と称し、工芸品、その指導と多くの本を執筆した。





目 次

タウトのこと(熊田英徳)

一九三三年

四月三十日(日) ウラジワエストファーク大草丸

五月一日(月) 大草丸

五月二日(火) 大草丸

五月三日(水) 大草丸―教員―京都

五月四日(木) 京都―桂離宮

五月五日(金) 京都―保津川下り―嵯峨―船尾神社―西芳寺

五月六日(土) 京都―大原

五月七日(日) 京都―龍海―歌舞練場

五月八日(月) 京都―奈良(春日神社)

五月九日(火) 京都―京大

五月十日(水) 京都―大原



左より タウト(エリカ)夫人、タウト、上野、中西、中尾の諸氏
1933年5月3日教員連(大草丸船上)にて

*** ブルーノ タウトと旧日向別邸 ***

1935 (昭和10) ~ 1936 (昭和11年)



旧日向別邸は 2 階部分と
地下部分があり

タウトは 庭園下の地下部
分の内装設計を行った。



日本-「タウトの日記」

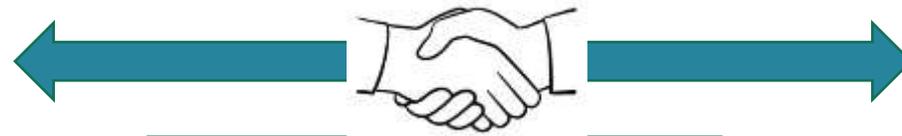
篠田英雄訳

*** ブルーノ タウトと旧日向別邸 ***

1935（昭和10）4月5日



ブルーノ タウト



柳沢健



日向利兵衛

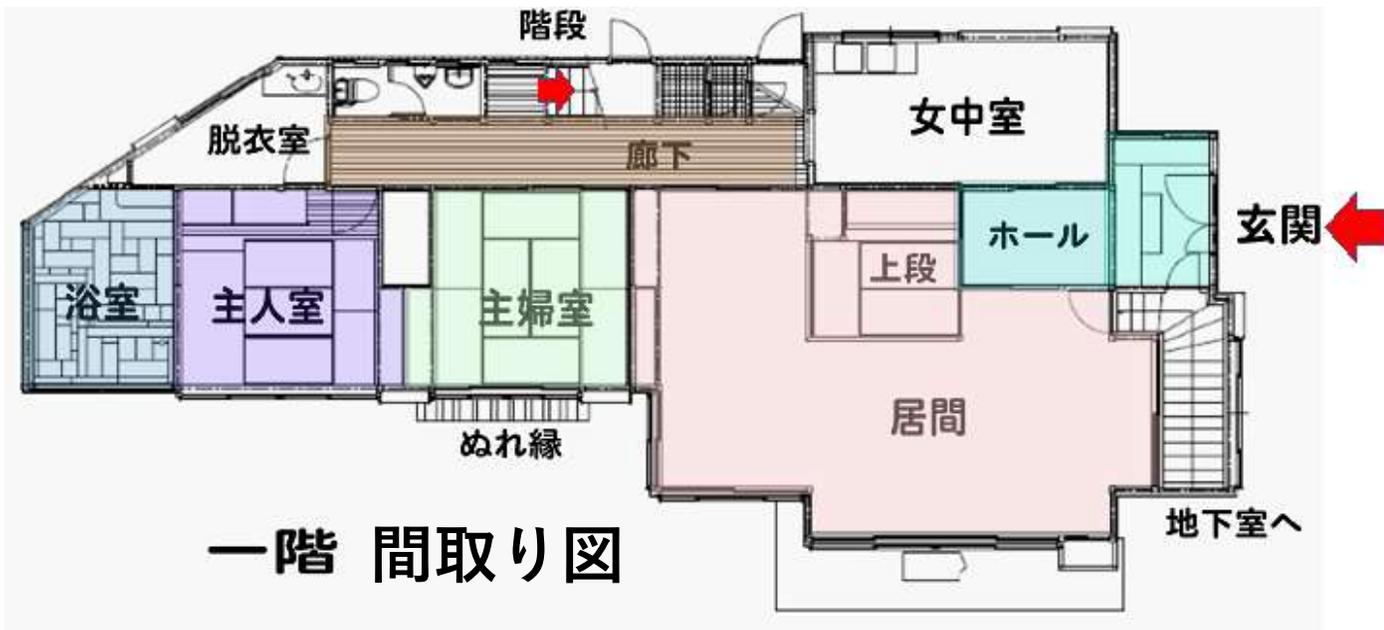
日本-「タウトの日記」

*** ブルーノ タウトと旧日向別邸 ***

1935（昭和10）4月16日

初島、大島の浮かぶ相模湾を眺望





居間・上段

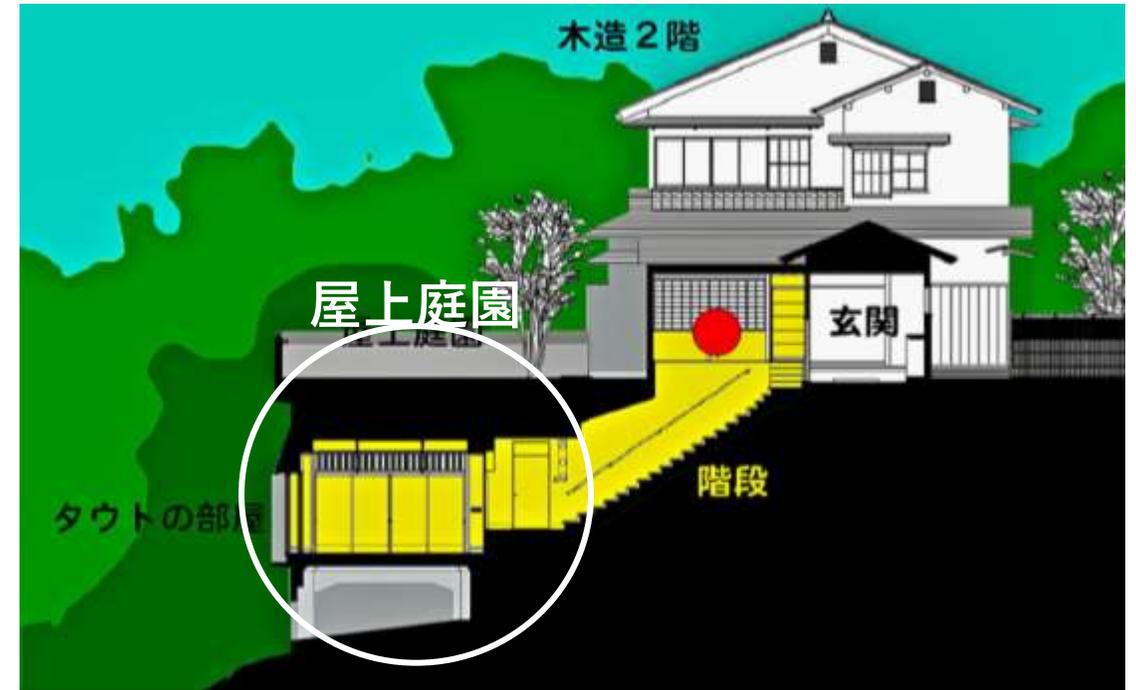
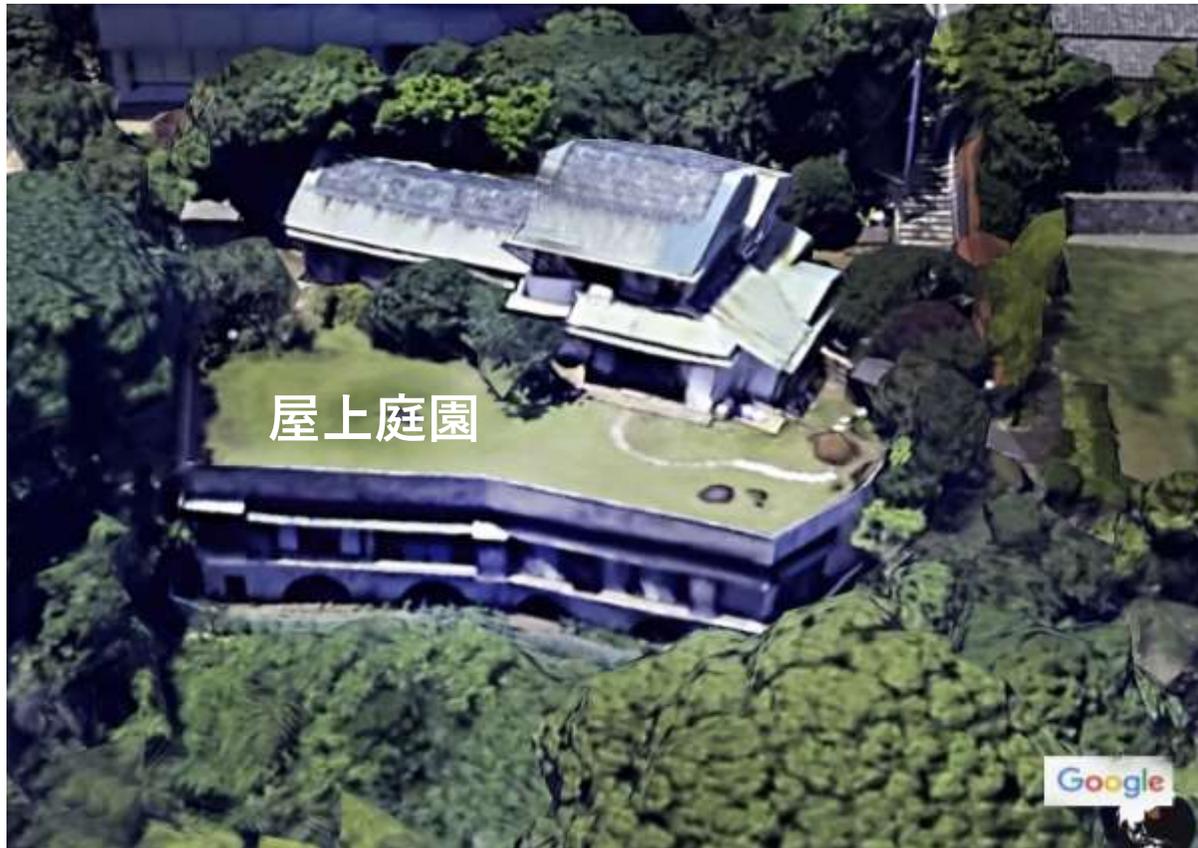


上段立上り・暖気が出る



上段下の温泉配管

二期工事 土留め躯体と庭園



要望：▲ここに居間、社交室を作る

井上房一郎は銀座にミラテスという店を出し、
タウトのデザインした多くの工芸品が販売した。



銀座ミラテス



日向が購入した行燈照明
旧日向別邸 蔵

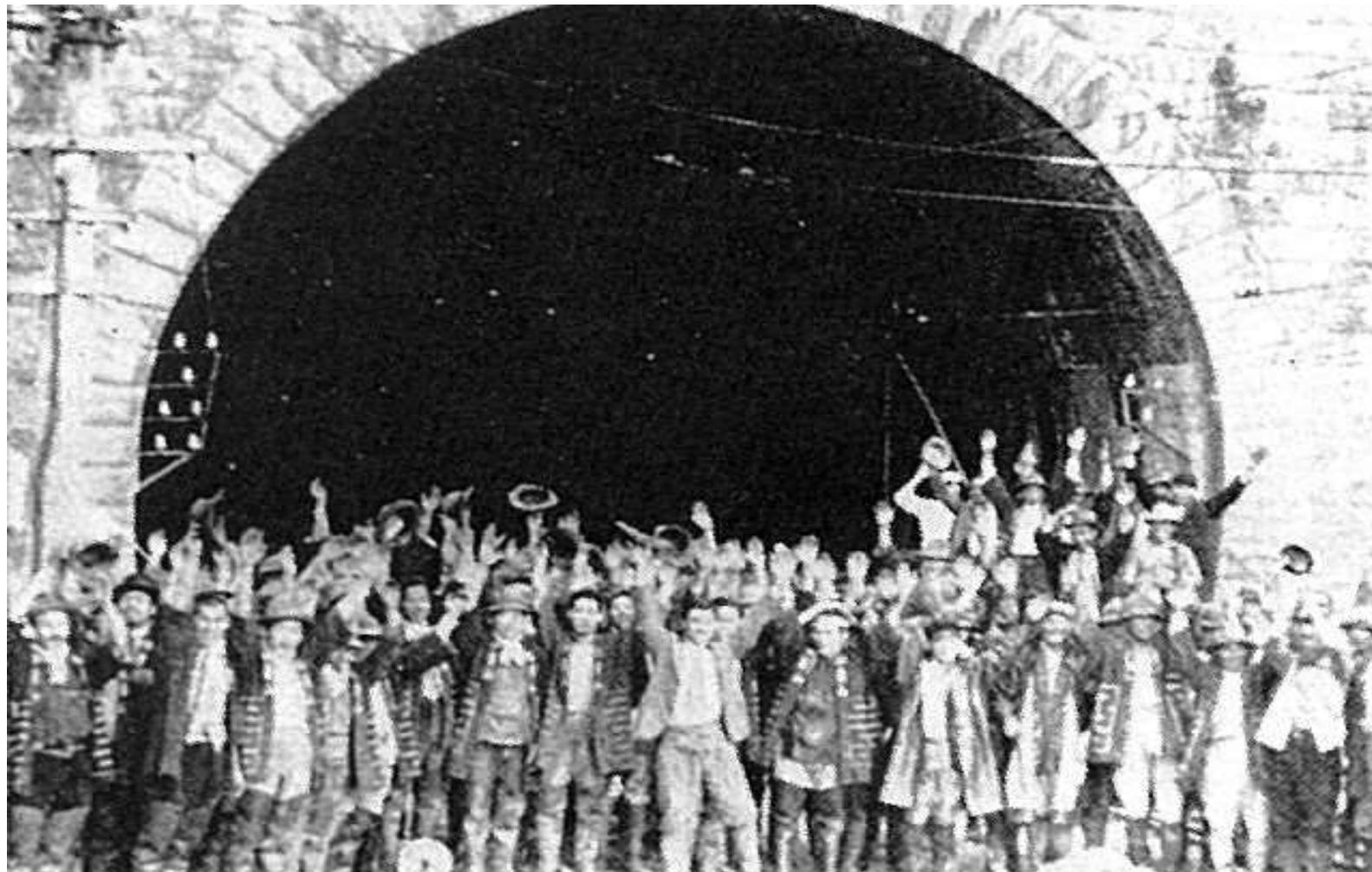
東山のこの場所は、**丹那トンネルの開通**を見越し、竹内同族会社が**温泉付き分譲**地で販売された。浴槽は一日中温泉で満たされ、いつでも入浴が可能であった。



* 浴槽は改装されている

丹那トンネル開通

超難工事の末、**昭和9年**に開通。東西から多数の観光客が押しかけ熱海は賑わった。



南側水抜坑付近の湧出水
西方大竹ロより七千二百三十九フィートの地点

* 多量の水が多く
の犠牲者を出した

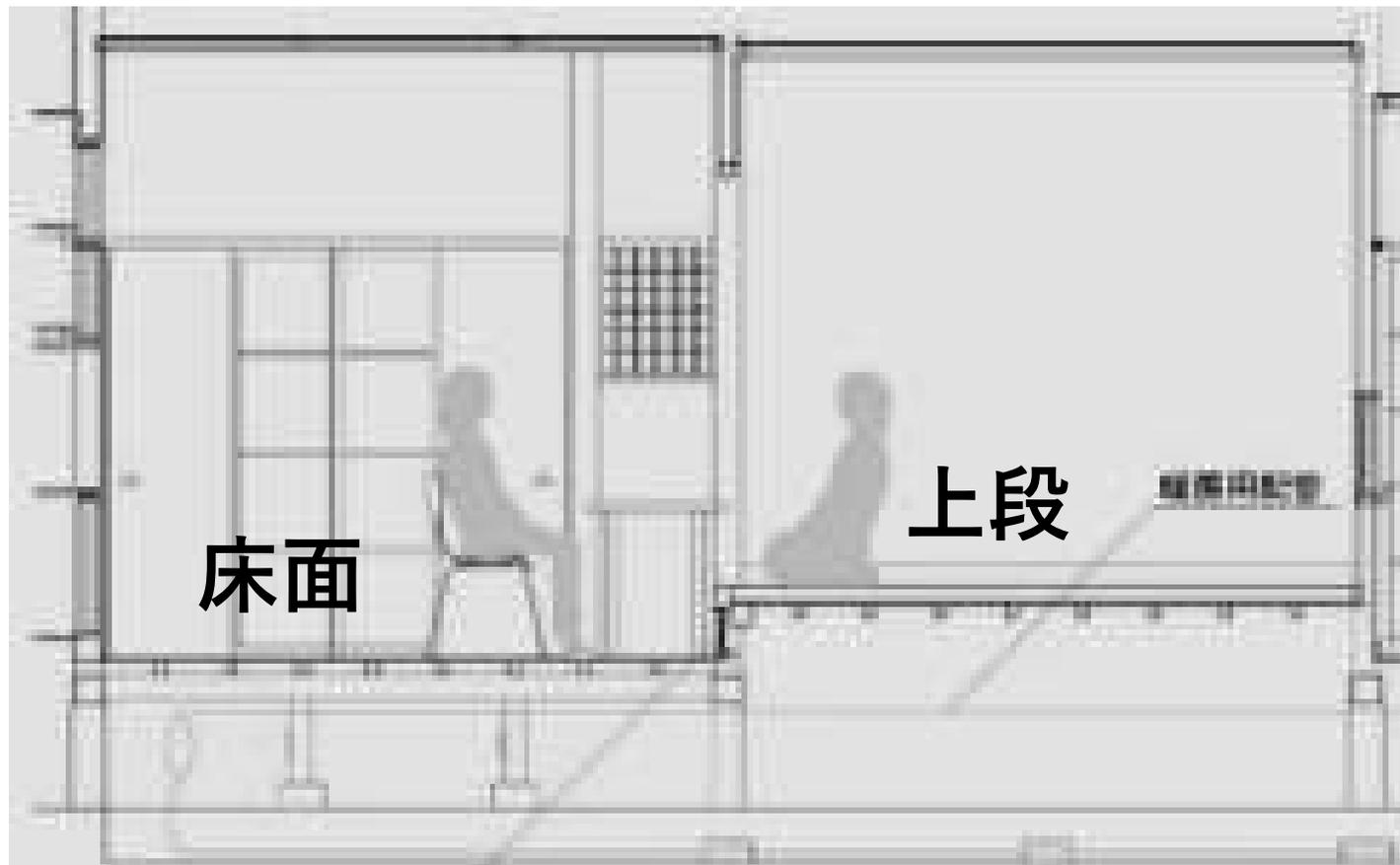
日本-「タウトの日記」

*** ブルーノ タウトと旧日向別邸 ***

1935（昭和10）4月17日



和洋折衷生活での仕掛け



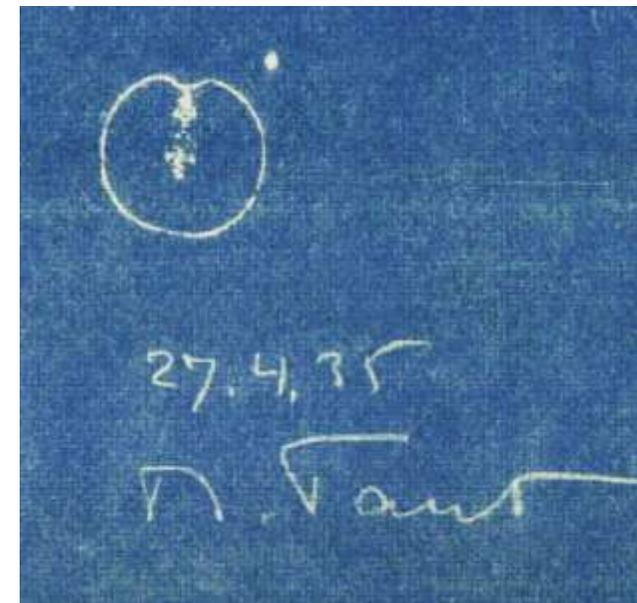
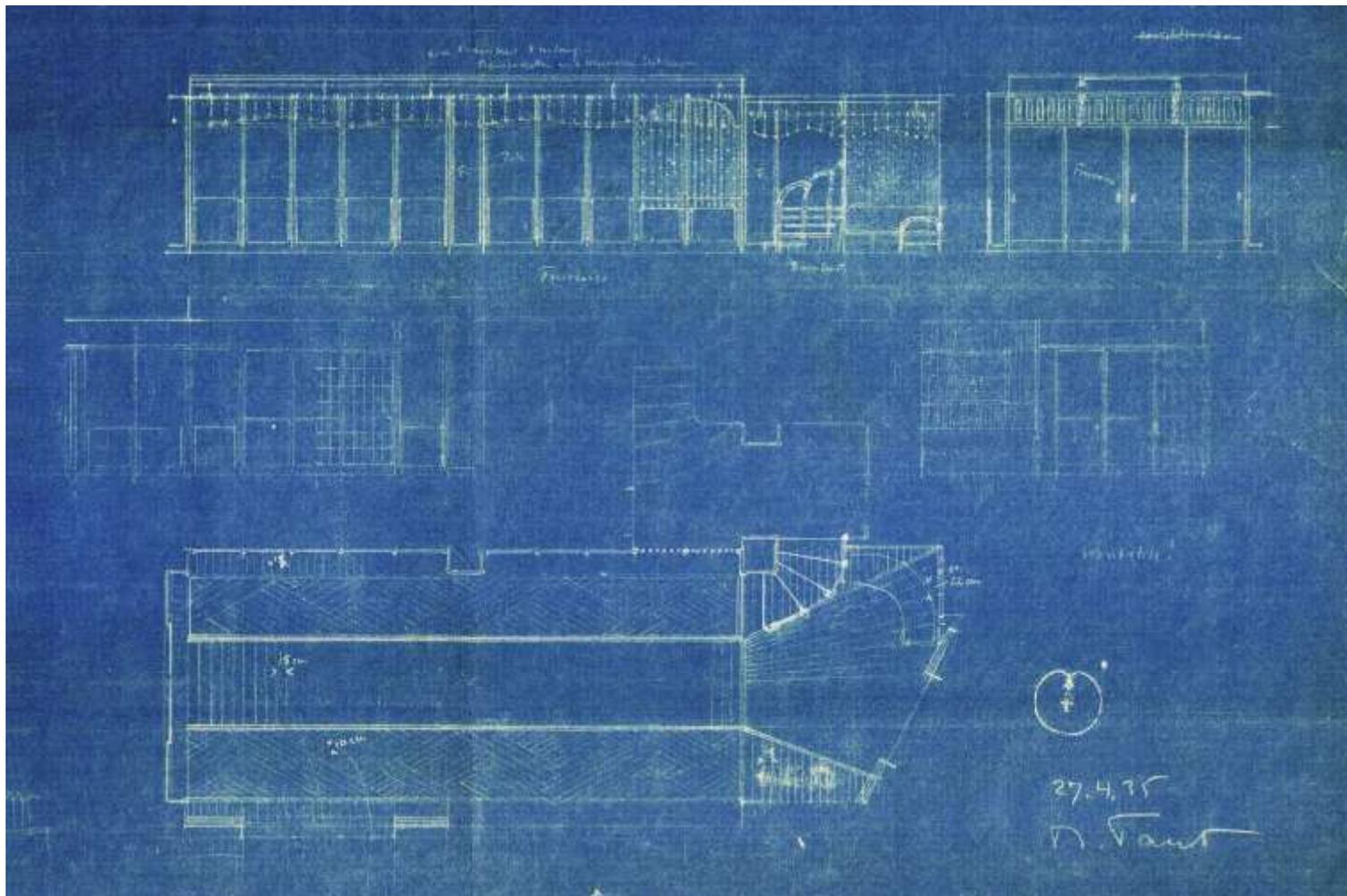
居間には、3畳の上段があり床面より30cm程高くなっている。テーブルを挟みで椅子に腰かけた高さ、畳に正座した時の高さが揃う。

日本-「タウトの日記」

*** ブルーノ タウトと旧日向別邸 ***

1935 (昭和10) 4月23日

タウトの4月27日のサイン図面



* 完成時と変わらぬ完成度に描かれている。
* 照明器具、床、天井の仕上げ模様まで描かれている。

日本-「タウトの日記」

*** ブルーノ タウトと旧日向別邸 ***

1935 (昭和10)

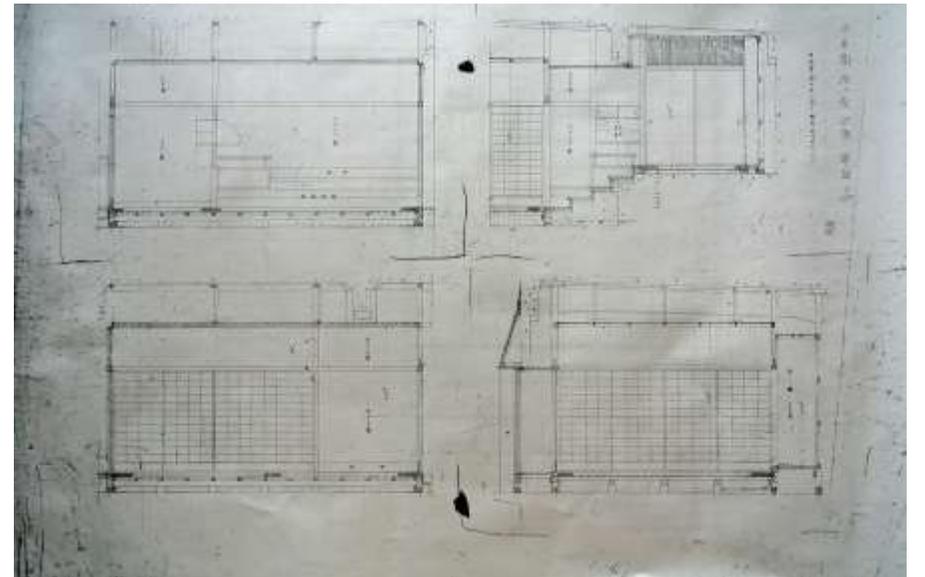
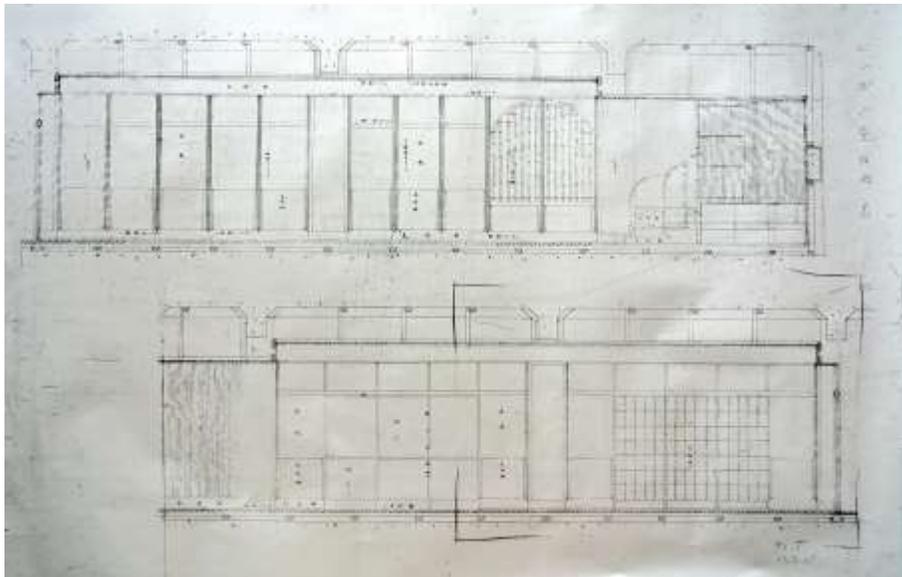
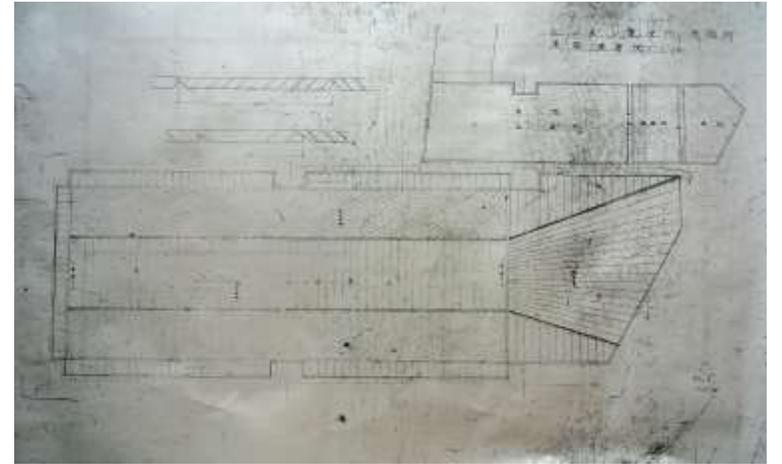
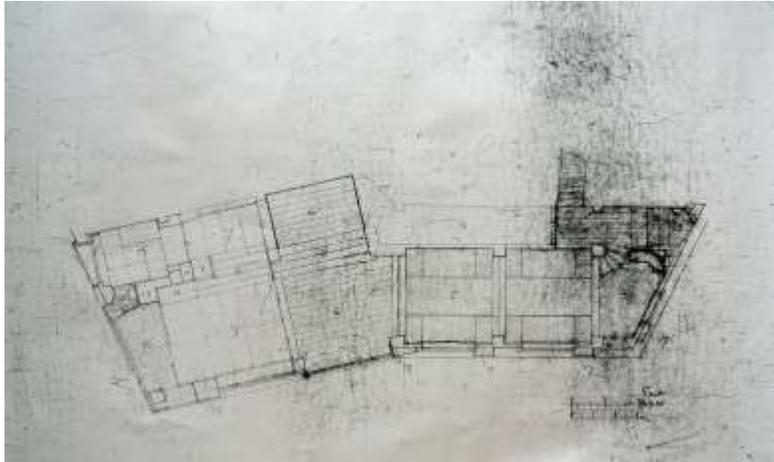
5月7日

吉田鉄郎事務所

による

図面の数々

NTTファシリ
ティーズより



日本-「タウトの日記」

*** ブルーノ タウトと旧日向別邸 ***

1935（昭和10）5月8日



設計支援：吉田鉄郎



吉田鉄郎と若い建築家たち

日本-「タウトの日記」

*** ブルーノ タウトと旧日向別邸 ***

1935（昭和10）6月10日

用意された小家屋



海に近く、喘息のタウトにとっては格好の養生地であったと思われる。敷地は傾斜地で縦長で広く、現在は門扉のみがある。



敷地の様子、海岸を臨む

日本-「タウトの日記」

*** ブルーノ タウトと旧日向別邸 ***

地下室施工：佐々木嘉平

1935（昭和10）6月20日

- 佐々木嘉平（ささき かへい、社寺建築家）
- 富山県の代々宮大工。
- 全国各地で数々の国宝や重要文化財の修復・保存に携わった。
- 昭和46年黄綬褒章を受章。
- 熱海市 日向別邸内装（改修）
- 東村山市 国宝正福寺地蔵堂修復 他



日本-「タウトの日記」

*** ブルーノ タウトと旧日向別邸 ***

1935（昭和10）7月3日

日向が移築した建物
現在・多賀蕎麦として営業



日本-「タウトの日記」

*** ブルーノ タウトと旧日向別邸 ***

1935（昭和10）

8月17日



日本間の天井板

タウトは日本間に桐の天井板を選び了承されたが「下駄」の思いからか実際は「神大杉」が使われた。



日本-「タウトの日記」

*** ブルーノ タウトと旧日向別邸 ***

1935（昭和10）8月31日

床の間 佐々木嘉平

私の設計した床の間では、どんな形の掛物にもむくというわけにはいかないといったそうだ。



見えにくい理由

落とし掛けを上げなかったことから掛軸が欠けられてしまい見えにくくなる。



一般的な床の間 上がっている

タウトによる床の間 落とし掛けの低さが低い

日本-「タウトの日記」

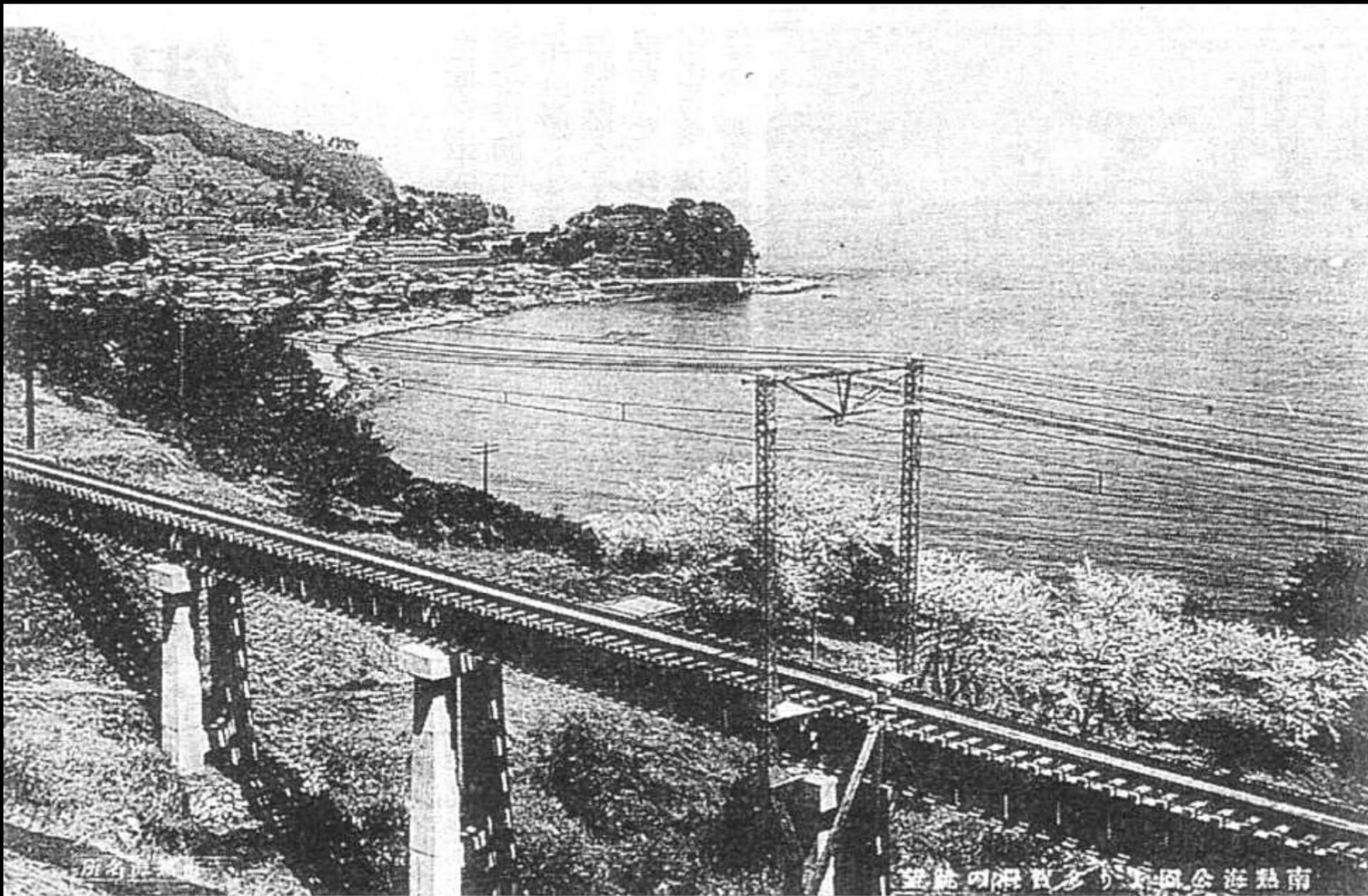
*** ブルーノ タウトと旧日向別邸 ***



イメージ写真

1936

南熱海公園より多賀湾の眺望・昭和十一年頃・(日新社)



所名詳無

南熱海公園より多賀湾の眺望

日本-「タウトの日記」

*** ブルーノ タウトと旧日向別邸 ***

1935（昭和10）11月17日

日本間の部分の用材は、色の調子が品よく落ち着いている。また私が此処で製図したモダンな洋間も見事な釣り合いをもつようになるだろう。・・・



日本-「タウトの日記」

*** ブルーノ タウトと旧日向別邸 ***

1935（昭和10）12月8日

吉田鉄郎

旧日向別邸の設計に関しては、自ら実施図面などの支援を行い、日本文化、建築材料などのアドバイスをおこなった。



右2人目 旧日向別邸の庭園にて



逓信省の建築家・代表作東京中央郵便局



現在：JPタワー

日本-「タウトの日記」

*** ブルーノ タウトと旧日向別邸 ***

1936（昭和11）4月12日

上野伊三郎

日本インターナショナル建築会のメンバー、
タウトを日本に招いた。トルコに旅立つまで
タウトを支援した。

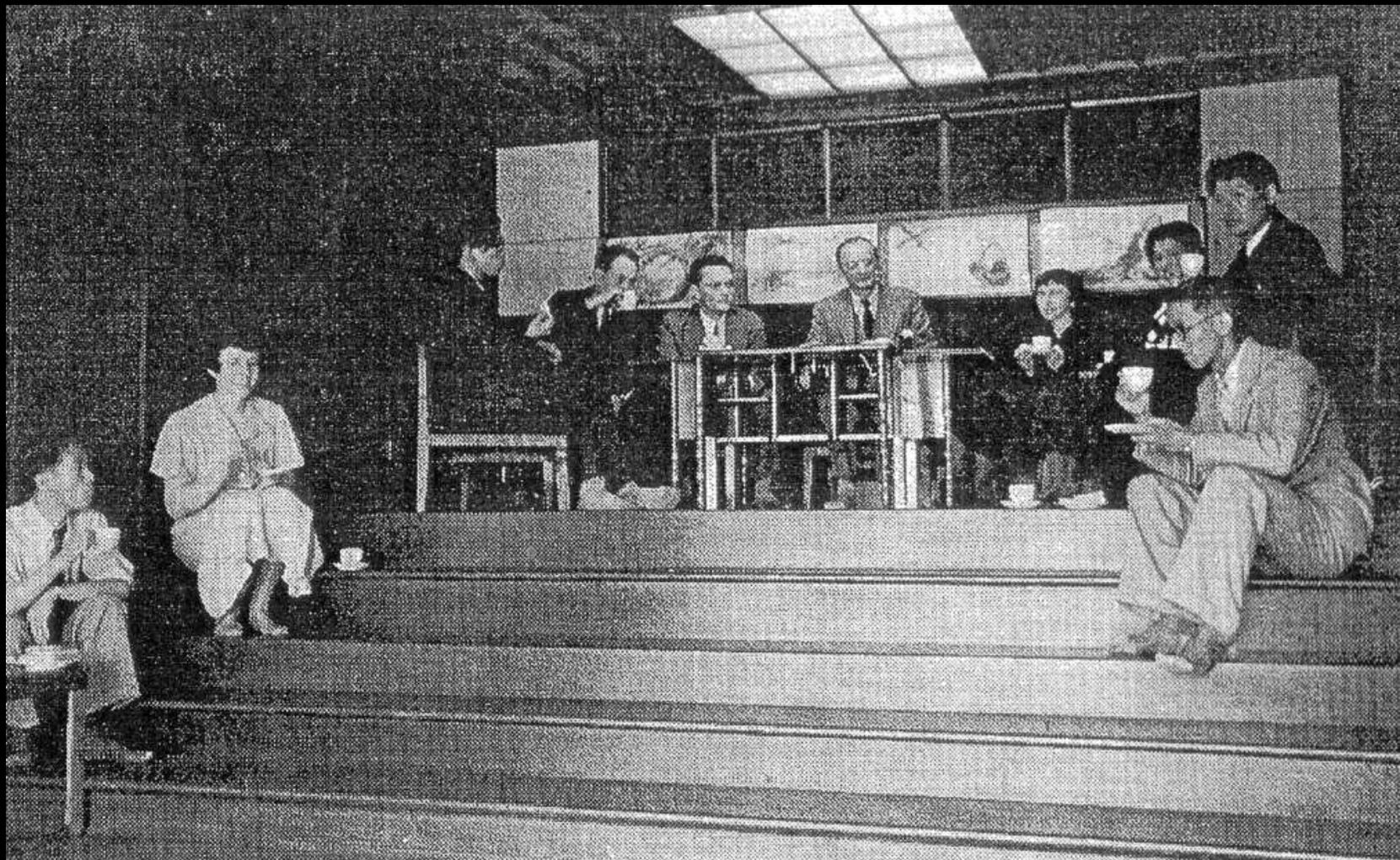


日本-「タウトの日記」

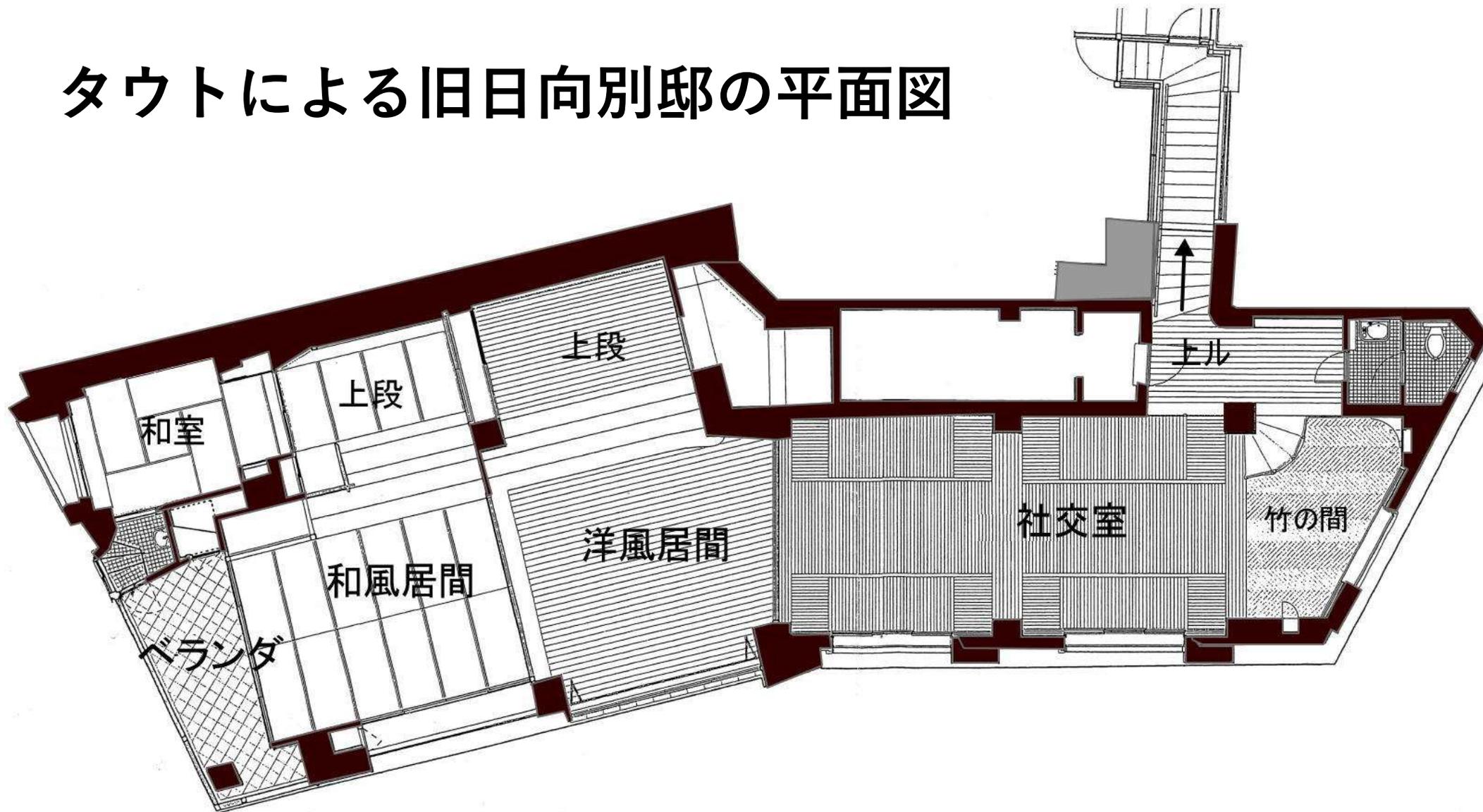
*** ブルーノ タウトと旧日向別邸 ***

1936（昭和11）9月20日

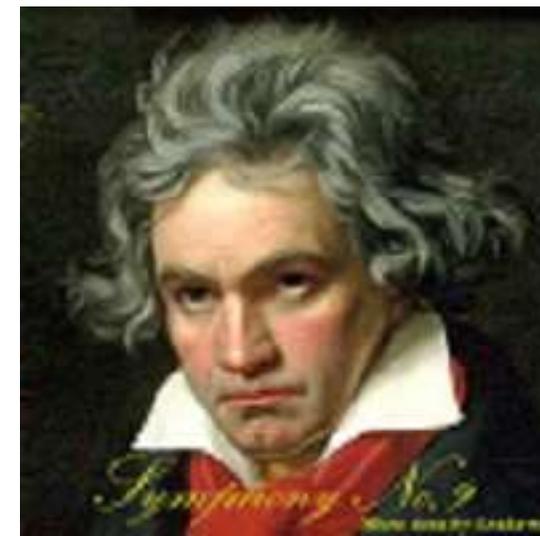
日向邸の平面図と洋風客間，中央にタウトとエリカ，他に
ブブノワ夫妻，吉田鉄郎，水原徳言，高村鍵三，島田巽夫妻，
1936年9月20日，島田巽氏提供.



タウトによる旧日向別邸の平面図



ピンポン室（舞踏室） - 社交室



洋風のモダンな今 – 洋風居間



日本座敷、日本風のベランダー 和風居間



こういう建築は、日本の何処にもありません・・・



水原徳言はタウト
唯一の弟子
といわれた人物
・
タウトの身近で
常に支援した







ご清聴ありがとうございました

令和3年度

オンライン講座
第16回
まちづくり
|

16

2021
12月
No.16

熱海ブルーノ・タウト連盟

タウト塾@熱海

日本-「タウトの日記」

篠田英雄訳
-抜粋-

*** ブルーノ・タウトと旧日向別邸 ***

1935 (昭和10) ~ 1936 (昭和11年)



No.16 END